



みんなて考えよう
公共交通(101)

こいこいバス 利用実態把握調査を実施しました

問い合わせ 大竹市地域公共交通活性化協議会（自治振興課内） ☎ 2142

こいこいバスの利用状況を把握するため、昨年11月に利用実態把握調査を実施しました。

調査期間

11月20日～22日

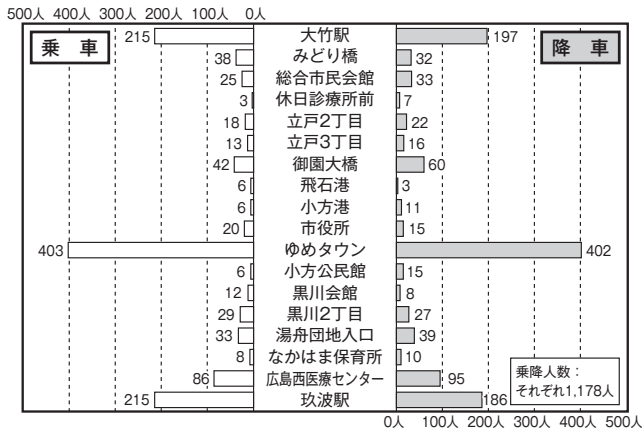
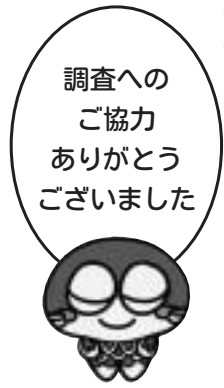
調査方法

調査員がバスに乗り込んで調査

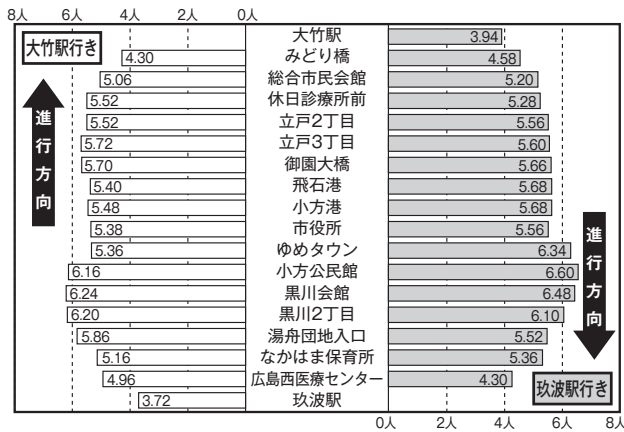
また、利用者の意見や運行サービスへの要望などを把握して、改善点などを検討するため、あわせて利用者アンケートを実施しました。

今回は、調査結果の概要（一部抜粋）をお知らせします。

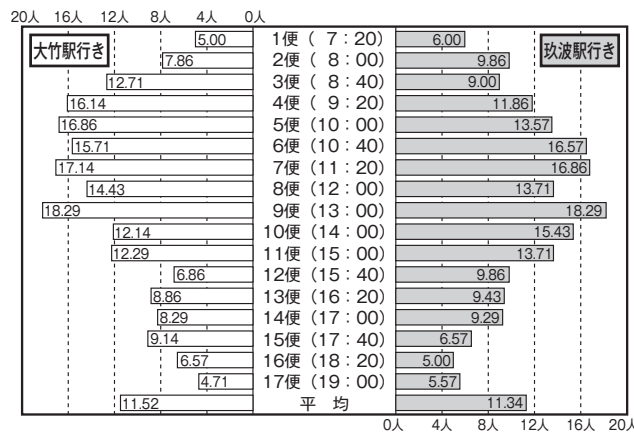
※ 利用実態把握調査・アンケート調査結果の詳細、ダイヤ・運賃は、市ホームページに掲載しています。（トップページのキーワード検索欄に「こいこいバス」と入力して検索）



① バス停別利用者数
玖波駅行き・大竹駅行きを合わせ、最も乗降人数が多いバス停は「ゆめタウン」で、「大竹駅」「玖波駅」「広島西医療センター」「御園大橋」と続きます。平成27年度の調査（平成27年7月5日～7日）と同様の結果になっていますが、乗降人数は大幅に増加しています。



② 1便当たり区間別平均乗車人数（行き先別）
玖波駅行き・大竹駅行きとも、「ゆめタウン」から「玖波駅」までの乗車人数が多く、平成27年度の調査結果（「大竹駅」から「ゆめタウン」までの乗車人数が多い）とは逆の傾向にあります。



③ 便別利用者数（1便あたり）
運行事業者からの実績報告により、11月20日から26日までの便別利用者数を集計しました。玖波駅行き・大竹駅行きとも、第9便が最も利用者が多く、以降の便は利用者数が減少する傾向にあります。

